



はこだて Marine Letter

令和4年2月 No.105

冬を乗り切るために!

船を係留して保管する場合の留意点

【係留ロープの点検・荒天時の補強】

船を長期間使用せずに係留する場合は、定期的に係留ロープに摩耗や緩みがないことを点検・確認しましょう。

低気圧の通過等、荒天が予想される場合は、係留ロープを増やしたり、太めのものに交換したりして補強し、**荒天後であっても必ず係留状態に異常がないかを**確認しましょう。

【降雪後の排雪】

本年1月、渡島管内で**大量の降雪**により、雪の重みで漁港に長期係留中の漁船が転覆する事案が連続して4件発生しています。

船上に積もった雪は放置せず、**こまめに排雪**しましょう。



※船上の積雪により、転覆した漁船

けあらし（蒸気霧）の状況



「けあらし」について!

「けあらし」とは、北海道の方言という説もありますが、気象用語では、「蒸気霧」といいます。これは、比較的暖かい海面から盛んに蒸発が行われたときに、冷たい大気が流れてきて、海面上の水蒸気を冷やして生ずる霧であり、高緯度の冬季によく見られます。北海道でも限られた地域でしか見ることができず、主に留萌、函館、釧路、浦河などが挙げられます。